

学科：再発見！何でも見てやろう

2026 年 9 月

9 月資生堂大阪茨木工場見学

CA 田口 結城 山上 石黒 磯山 山崎

9 月の学科のテーマは資生堂大阪茨木工場見学です。

今回の工場見学は、9 月 3 日・8 日・10 日・15 日の 4 回に分けて、それぞれ 40～50 名の受講生が参加しました。

茨木市駅に 9 時に集合し、資生堂からの 50 人乗りの見学者専用バスで約 20 分、工場に着きました。白を基調とした 7 階建てのビルに最初は驚かされました。

中に入ると、中もまた清潔感あふれる白を基調とした落ち着いた造りになっており、案内していただいた担当の方も若くて笑顔の素敵な方ばかりでした。



まず資生堂・本工場の概要を説明した

ビデオの案内の後、生産現場に行きました。生産現場では機械が主流と思いきや、1フロアに約400名の方が働いており、高い品質を維持するために機械と人との役割分担がしっかりできている工場だと感心しました。また驚いたことに、生産に使用する機器は、部品をすべて分解して洗浄・殺菌し、その後また元通りに組み立て使用しているとのこと。高い品質を維持するためには、惜しみなく手をかけている姿勢には驚きました。





次に向かったのは体験コーナーで、まずメイクアップショーウインドウというコーナーではショーウインドウのミラーをのぞくと、自分の顔がちまち、いろいろなメイクに様変わりしていきます。メイクの種類は時代メイク、着物メイク、メイクステップ、歌舞伎メイク、アニマルメイクがあり、皆さんご自分の顔の変化に一喜一憂されて楽しんでいました。ある受講生の方はメイクに目覚め、また口紅で化粧することでした。



次は官能検査のコーナーで、色やにおい、触り心地など、人の感覚を使って製品の品質を判定する検査です。色覚検査、嗅覚検査、触覚検査の3種類があり、皆さん熱心に検査に取り組んでいました。最後にフレグランスづくりなど、化粧品に関する様々な体験ができるワークショップコーナーで、フレグランスを自動で充填するロボットを使った体験学習でした。作ったフレグランスオイルはお土産として持ち帰りました。

あっという間の2時間の工場見学でしたが、普段使っている資生堂の商品をより身近に感じると品質への信頼がさらに深まりました。また貴重な体験ができ、とても充実した工場見学でした。



